

講演会 & ライブ な日々 ③②

古川 秀明

『2年ぶりの講演会&ライブ』

東山区社会福祉協議会
第72回社会を明るくする運動 東山地区大会

なんと2年ぶりの講演会&ライブです。

3年前に企画されていたのですが、コロナの為に2年連続お流れになりました。

今回は対面で思う存分歌えます。

あ～、以前は当たり前に行っていたことができなくなり、それができるようになるだけでこんなに幸せな気分になるものなのか・・・。

よ～し、全力で講演会をやり、全力で歌おう。

機材を点検するのも2年ぶり。

ギターの電池も替えて、各種シールド、スピーカー、ミキサーのチェック。

う～ん、どれもご機嫌に作動してくれる。

気のせいかな、2年前よりも性能がUPしたようにも感じられるぞ。
何を歌おうか。

歌いたい歌は腐るほどあって、2年間で腐ってしまって、もうドロドロのチーズ
みたいになっている。

まあいいや、とにかく外せない定番の歌を歌おう。

そんな風にわくわくしていると、主催者様からメール。

感染状況が悪化しているので、対面の人数を半数に減らし、オンライン配信との
ハイブリッド方式に変更になるとの連絡。

う～む、仕方ないな。

中止になるよりマシと思おう。

そうこうしているうちに、また主催者様からメール。

感染状況がもっと悪化してきたので、DVD録画にして参加希望者に配りたいと
のこと。

つまり、会場で私が講演して歌うところをDVDに録画して、それを配るとい
うこと。

う～ん、完全無観客試合みたいなもんやな。

ライブは観客がいないと淋しいからなあ。

録画やと、どうしても会場の空気が伝わらないからなあ。

けど、まあ中止よりいいか……。

というわけで講演会&ライブ決行しました。

会場にはカメラスタッフと主催者関係の人を合わせて8人。

よし、この人たちのために演奏しよう。

な～に、若い頃はライブハウスでお客さん1人とか、お客はライブハウスのマスターだけとか、いっぱい経験しているから、8人もいたら上等だ！

そしてそして、いざ幕が上がると、この8人の人たちが凄く盛り上げてくださった。

しかもみなさん、決して若くはないのですが、熱気だけはティーンエイジャーにも負けないくらいでした。

なんか、こじんまりした町内の演芸会みたいで、おもしろかった。
後日、こんな感想を頂きました。

*私の想像していた通りのライブで、私たちの要望を豊富なご経験と、それを音楽で表現される才能とが相まって毎回、新しい発見をさせていただき、考えさせられるライブであったことを大変嬉しく思いました。

*1時間と限られた時間でしたが、結婚により家族というものが生まれて子供の誕生、その後の人生の節目による変化を母親、父親のそれぞれの視点で考えさせられる講演とコンサートでした。

*お疲れ様です。私が保護司になって最初のイベントが古川さんのライブでした。前回とは違う歌とお話で楽しく聴かせて頂きました。
今日のメンバーだけで聴くのは勿体なく、近い時期に是非再演して欲しいと思います。ありがとうございました 🌸 🌸

*古川先生の講演期待通りですごくよかったです！

「コロナ禍での家族との向き合い方」がテーマでしたが、普遍的な家族の関係、付き合い方を歌に乗せて問いかけられて、自ら考えさせられました。

*古川さんのステージが聴衆のリアクションを前提にした構成なので、運営スタッフのみでやりにくかったであろうと申し訳なく感じるどころです。
同時にライブ感がどこまでDVDで伝わるのか気がかりなところでもあります。



2年ぶりの講演会&ライブ、幸せでした。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

また講演会&ライブでお会いしましょう。

シンガーソングカウンセラー
ふるかわひであき